

令和6年度 江戸川区立大杉第二小学校 総合的な学習の時間 全体計画

校長名 笠井 三恵子

名称: 総合

学校の教育目標	東京都教育委員会と江戸川区教育委員会の教育目標を受け、人権尊重の精神を基調として、心身ともにすこやかで、ふるさと「えどがわ」を愛し、その発展に寄与するとともに、国際感覚をそなえた児童を育成する。「こころ豊かに たくましく 教育の江戸川」の実現に向け、学習環境の整備・充実を図るとともに、家庭・学校・地域と連携し、児童の「生きる力」を培う教育を推進する。 ◎ よく考え進んで学ぶ子(重点目標) ○ 思いやりのある子 ○ 明るく元気な子
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>
--

学校の総合的な学習の時間の目標

<p>1 自ら課題を見付け、主体的に学び考え判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付ける。</p> <p>2 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組み自己の生き方を考えることができる。</p>
--

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 地域や家庭での暮らしに興味をもち、課題を見付け、最後まで追究する。 色々な表現方法の中から自分にあった表現を選び、分かりやすく表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 広い視野に立って事象に関心をもち、課題を見付け見直ししながら、追究する。 目的に応じた情報手段を選択し、相手を意識して表現する。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 友達や地域の良さを見付け、関わろうとする。 話し手の思いを考えながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的にあった人たちと積極的に関わろうとする。 課題に照らし合わせ要点を押さえながら、話を聞く。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを、地域や家庭での暮らしに生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを、社会や自分の生き方に生かそうとする。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	1 生き物博士になろう(生き物探検隊) 2 江戸川大好き(区内めぐり、江戸川野菜) 3 知ろう 昔のくらし	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物に接し、関心をもち。 大杉の町を探検し、地域のよさや人と関わることによさに気付く。 昔のくらしを知り、伝統文化を受け継ぎ自己の生活に生かす。
第4学年	1 地域安全見守り隊(地域安全マップ作り) 2 めざせ、発表名人 3 ぼく、わたしたちのSDGs	<ul style="list-style-type: none"> 地域安全マップを作成し、自己防衛力を高める。 相手や目的を考えながら、自分の思いや考えを伝え合う。 ユニバーサルデザインについて調べ、便利ということについての理解を深める。
第5学年	1 タブレットと友達 2 雪国の生活(伝統と文化について) 3 学校2020レガシー(母校の伝統について)	<ul style="list-style-type: none"> 情報や機器の特性をすすんで学習することができる。 新潟の文化、生活などを調べる計画を立て、主体的に追究し、知らせあう。 2021年の東京オリンピック・パラリンピックのレガシーについて調べ、伝え合う。
第6学年	1 学校2020レガシー(母校の伝統について) 2 学校のリーダーになろう 3 卒業プロジェクト(卒業プロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> 2021年の東京オリンピック・パラリンピックのレガシーについて調べ、伝え合う。 なかよし班活動について計画を立て、運営する。 卒業に向けての活動を通して、自分の生き方や行動を見つめる。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 3年生は地域、4年生はプレゼン能力育成、5年生は環境・日本文化、6年生は福祉・国際理解を主なテーマとする。 単元は学年で開発し、年間3～4単元程度とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の課題意識を連続発展させる支援 個に応じた指導の工夫 体験活動の重視 協働的な学習活動の充実 教科との関連的な指導の重視 	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理を拠点とした情報の集積と活用 学校応援団の効果的運用 担任外の教職員による支援体制の樹立 	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを活用した評価の充実 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 個人内評価の重視 指導と評価の一体化の充実